



## 日暈(にちうん)現象が見られたよ

5月2日の昼過ぎに大名小学校からお電話がありました。「今、見えている自然現象、なんて言うの？」との問い合わせでした。

急いで空を見上げると、大空いっぱい「日暈(にちうん・ひがさ)」現象が見られました。

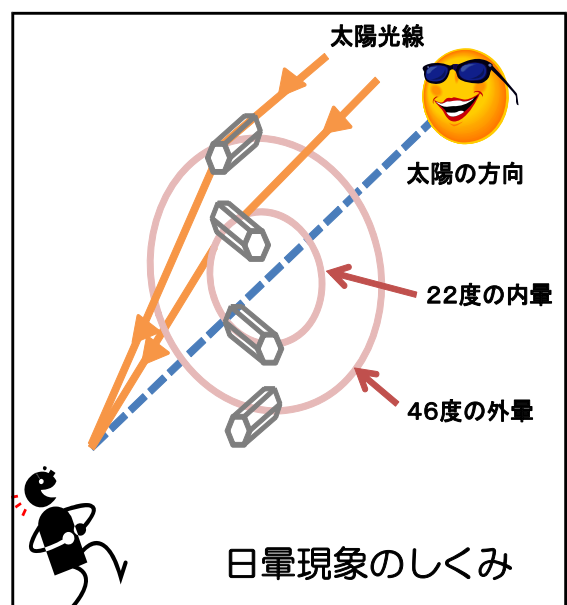
デジカメで撮影して、折り返し大名小学校へ連絡を入れ、「太陽の下にうっすら雲がかかって、光が雲中にある小さな六角形の氷の粒に屈折・反射してできますよ」と説明しました。氷の粒がプリズムの役目を果たすのです。

なんでも、4年生が見つけて、「これはなんですか？」と聞いてきたものらしいです。教育研究所の玉村先生に聞けば分かるはず…というわけで電話してきたのだそうです。このあと、同様な電話が5件きました。多くの学校や職場でこれを見た人が多く、中には气象台や新聞社、テレビ局などに「地震の前ぶれでは?」「不吉な感じがする」などの問い合わせもあったようです。

この現象、実は年間を通じてよく観察されるものなのです。こんな大きいのはまれですけどね。このような現象は月にも起こり、「月暈(げつうん・つきがさ)」と呼ばれています。



2013/5/2(金) 12:40 那覇市金城にて撮影



(文責：玉村かおり)